

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
設定日	2018年4月27日
信託期間	無期限
運用方針	マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。投資魅力の高い残存年数の国債を選択し安定性を重視した運用を行います。実質組入外貨建資産については、投資環境に応じて対円での為替ヘッジを行い、一部または全部の為替リスクの軽減を図ります。為替を一部組み入れることで、金利変動による損益を相殺し、収益の安定化を図ります。市場環境の変化に応じて為替ポジションを機動的に調整しリスクをコントロールします。ポートフォリオ全体のリスクにターゲット（年率2%程度）を設定し運用を行います。
主要運用対象	大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） ・先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド ・先進国の国債を主要投資対象とします。
投資制限	大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） ・株式への実質投資は行いません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド ・株式への投資は行いません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎年4月15日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含まれます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。 *分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

- 口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

## 運用報告書（全体版）

第1期

決算日 2019年4月15日

## 大和住銀 先進国国債ファンド （リスク抑制型）

### （愛称） 未来のコツ

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにありがとうございます。お礼申し上げます。

さて「大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）（愛称：未来のコツ）」は、去る2019年4月15日に第1期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）

〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1

<https://www.smd-am.co.jp>

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配 金	期 騰 落 率			
(設定日) 2018年4月27日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 500
第1期（2019年4月15日）	10,230	0	2.3	65.7	—	18,956

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

## 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
		騰 落 率		
(設定日) 2018年4月27日	円 10,000	% —	% —	% —
5月末	10,024	0.2	88.7	—
6月末	10,041	0.4	89.4	—
7月末	10,014	0.1	88.6	—
8月末	10,012	0.1	96.8	—
9月末	9,973	△0.3	100.0	—
10月末	9,976	△0.2	95.9	—
11月末	10,032	0.3	99.6	—
12月末	10,006	0.1	98.4	—
2019年1月末	10,057	0.6	88.5	—
2月末	10,103	1.0	88.6	—
3月末	10,268	2.7	72.9	—
(期末) 2019年4月15日	10,230	2.3	65.7	—

\*設定日の基準価額は、設定価額を記載しています。

\*騰落率は設定日比です。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

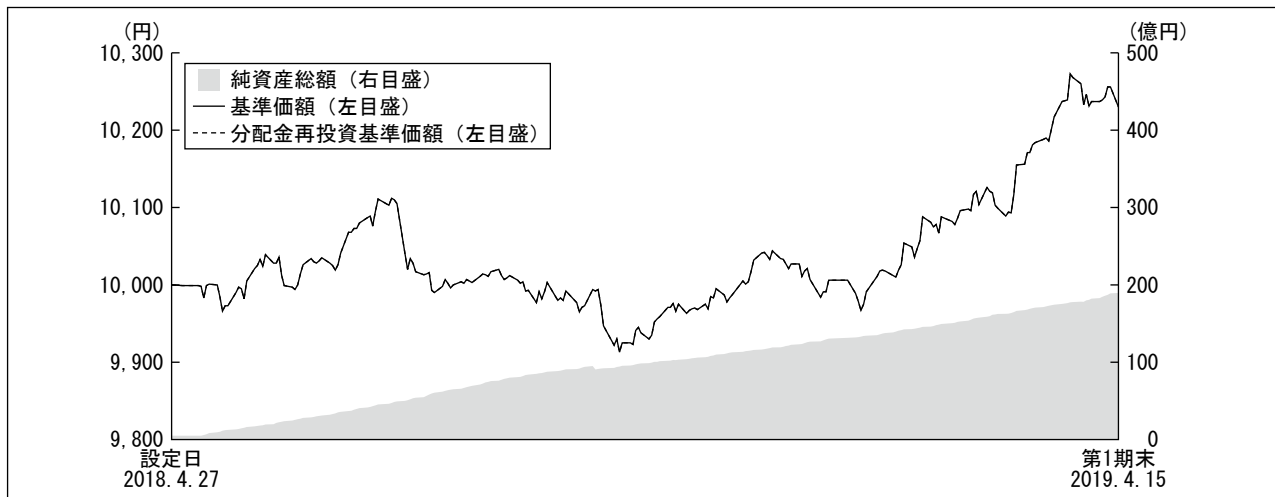
\*当ファンドは親投資信託を組み入れますので、各組入比率は実質組入比率を記載しています。

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】



\* 設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

\* 当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\* 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

設定日 : 10,000円

第1期末 : 10,230円（既払分配金 0円）

騰落率 : +2.3%（分配金再投資ベース）

### 【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、先進国国債（リスク抑制型）マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資を行いました。

（上昇要因）

債券は、フランス国債、日本国債、および米国債がプラスとなり、特にフランス国債が大きくプラスとなったことが要因となりました。為替は、米ドルがプラスとなったことが要因となりました。

（下落要因）

為替は、ユーロがマイナスとなったことが要因となりました。

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 【投資環境】

債券市場は米国、ユーロ圏を中心にグローバルに上昇しました。設定当初、イタリアにおいてポピュリスト政権が発足しリスクオフの流れが強まったことで、ユーロ圏のドイツ、フランスを中心に利回りは低下しました。その後、日本銀行による金融政策の柔軟化の報道や日本国債の買い入れ減額、米国の堅調な経済指標を背景に日米を中心に金利は上昇しました。2018年12月には米中貿易交渉への懸念の高まりやグローバルな経済指標の悪化から株価が大きく下落するなか、主要国金利は米国主導で大きく低下しました。その後もFRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）といった主要国の中央銀行がハト派的な姿勢を強めたことや経済指標の悪化が継続したことから、債券市場は上昇基調が継続しました。

為替市場は米ドルが対円で上昇した一方、その他の通貨は下落しました。米ドルは2019年の年初、リスクオフが強まるなか大きく下落する局面も見られましたが、市場リスクセンチメントの回復に合わせ値を戻し、対円で上昇しました。一方、イタリアの政治混乱や経済指標の悪化が嫌気されたユーロや、EU（欧州連合）離脱交渉に対する懸念の高まりを受けた英ポンド、米国の対中強硬的な姿勢が嫌気されたオーストラリアドル、原油価格の下落が意識されたカナダドルは対円で下落しました。

## 【ポートフォリオ】

### ■大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

主要投資対象である先進国国債（リスク抑制型）マザーファンドを期を通じて高位に組み入れ、期末の実質的な公社債組入比率は65.7%としました。

### ■先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

当期の騰落率は、+2.8%となりました。

設定当初、イタリアの政治混乱からリスクオフとなる局面では、債券のリスクを高めに維持した一方、為替のリスク量を引き下げ、抑制的な水準としました。その後、日本銀行の金融政策の柔軟化の報道を受けボラティリティ（価格変動性）が上昇、債券と為替の逆相関関係も悪化した局面では、日本国債を中心に債券とリスク資産のリスク量を引き下げ、ポートフォリオ全体のリスク量についてターゲットリスクをやや下回る水準としました。2018年12月に入り、世界的に株価が下落しリスクオフが強まる局面では、債券のリスク量を高めに維持しつつ、リスク資産のリスク量を段階的に引き下げました。また、その後、中央銀行のハト派的な姿勢からベース資産・リスク資産ともに上昇する局面では債券・リスク資産ともにリスク量を段階的に引き上げました。ただし、リスク資産の債券対比で抑制的な配分は維持しました。

## 【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 【分配金】

収益分配金につきましては、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、見送りとさせていただきます。  
なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## ■分配原資の内訳

（1万口当り・税引前）

項目	第1期	
	2018年4月27日 ～2019年4月15日	
当期分配金 (円)		0
(対基準価額比率) (%)		0.00
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		229

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### ■大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

引き続き、運用の基本方針に従い、マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む先進国の国債に投資することにより、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

### ■先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

引き続き、債券に関しては、ポートフォリオ全体のキャリー収益を高め、安定した収益の積み上げを狙います。為替部分に関しては、債券部分との逆相関関係の状況を勘案し、最適なリスクバランスとなるようにリスク量を調節することでポートフォリオ全体のリスクをコントロールし、より安定した収益を目指します。

足元では逆相関が有効な状態が継続しており、リスク量は概ねターゲット近辺で維持しています。今後についても、リスク量をターゲットリスク近辺で維持することを基本方針とするものの、逆相関関係やボラティリティ、経済指標や地政学リスクなどを注視しつつ、リスク量の機動的な調整を行います。

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年4月27日～2019年4月15日		
	金額	比率	
信託報酬	51円	0.503%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,046円です。
（投信会社）	(26)	(0.262)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(21)	(0.209)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.031)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	2	0.024	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.015)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.009)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.001)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	53	0.527	

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド	千口 19,847,667	千円 19,989,317	千口 1,368,961	千円 1,382,665

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 利害関係人との取引状況等

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

### ■利害関係人との取引状況

#### <大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）>

当期における利害関係人との取引はありません。

#### <先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド>

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 37,159	百万円 118	% 0.3	百万円 24,900	百万円 -	% -

\*平均保有割合100.0%

\*平均保有割合とは親投資信託残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 自社による当ファンドの設定・解約状況

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

設定時(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 500	百万円 -	百万円 500	百万円 -	当初設定時における取得とその処分

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 組入資産の明細

2019年4月15日現在

### ■親投資信託残高

	当 期		末
	口	数	評 価 額
		千口	千円
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド		18,478,705	19,001,652

\*先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド全体の受益権口数は、18,478,705千口です。

## 投資信託財産の構成

2019年4月15日現在

項 目	当 期		末
	評 価 額		比 率
		千円	%
先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド	19,001,652		99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	12,200		0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	19,013,853		100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1 アメリカ・ドル=112.01円、1 イギリス・ポンド=146.68円、1 ユーロ=126.60円

\*先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

当期末における外貨建資産（9,100,512千円）の投資信託財産総額（20,309,565千円）に対する比率 44.8%



# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年4月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	19,013,853,746円
先進国国債(リスク抑制型)マザーファンド(評価額)	19,001,652,911
未 収 入 金	12,200,835
(B) 負 債	57,660,253
未 払 解 約 金	22,602,306
未 払 信 託 報 酬	34,160,773
そ の 他 未 払 費 用	897,174
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	18,956,193,493
元 本	18,530,866,265
次 期 繰 越 損 益 金	425,327,228
(D) 受 益 権 総 口 数	18,530,866,265口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,230円

\*元本状況

当初設定元本額	500,000,000円
期中追加設定元本額	19,400,986,700円
期中一部解約元本額	1,370,120,435円

## 損益の状況

自2018年4月27日  
至2019年4月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 77円
受 取 利 息	20
支 払 利 息	△ 97
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	388,459,291
売 買 益	397,387,506
売 買 損	△ 8,928,215
(C) 信 託 報 酬 等	△ 48,908,035
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	339,551,179
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	85,776,049
(配 当 等 相 当 額)	(△ 1,245)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 85,777,294)
(F) 計 (D+E)	425,327,228
次 期 繰 越 損 益 金(F)	425,327,228
追 加 信 託 差 損 益 金	85,776,049
(配 当 等 相 当 額)	( 21,757,975)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 64,018,074)
分 配 準 備 積 立 金	339,551,179

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

\*信託報酬等には、消費税等相当額を含めて表示しております。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

<分配金の計算過程>

信託約款に基づき計算した収益分配可能額及び収益分配金の計算過程は以下のとおりです。

(A) 配 当 等 収 益 (費用控除後)	136,697,467円
(B) 有 価 証 券 売 買 等 損 益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	202,853,712
(C) 収 益 調 整 金	85,776,049
(D) 分 配 準 備 積 立 金	0
分 配 可 能 額 (A+B+C+D)	425,327,228
(1 万 口 当 り 分 配 可 能 額)	( 229.52)
収 益 分 配 金	0
(1 万 口 当 り 収 益 分 配 金)	( 0)

# 大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型）

愛称：「未来のコツ」

## お知らせ

---

大和住銀投信投資顧問株式会社は、2019年4月1日に三井住友アセットマネジメント株式会社と合併し、三井住友DSアセットマネジメント株式会社となりました。

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。

# 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

## 運用報告書

決算日：2019年4月15日

（第1期：2018年4月27日～2019年4月15日）

当ファンドは、上記の通り決算を行いました。ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	先進国の国債に投資するとともに、市場環境に応じて為替取引を行うことにより、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要運用対象	先進国の国債を主要投資対象とします。
投資制限	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 株式への投資は行いません。</li><li>・ 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li></ul>



三井住友DSアセットマネジメント

（旧：大和住銀投信投資顧問）  
〒105-6228 東京都港区愛宕2-5-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

## 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

### 設定以来の運用実績

決算期	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率	純資産 総額
	円	騰落率			
(設定日) 2018年4月27日	10,000	—	—	—	百万円 500
第1期(2019年4月15日)	10,283	2.8	65.5	—	19,000

\*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

\*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を記載しています。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

### 当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	債券先物 組入比率
	円	騰落率		
(設定日) 2018年4月27日	10,000	—	—	—
5月末	10,029	0.3	88.7	—
6月末	10,051	0.5	89.3	—
7月末	10,028	0.3	88.5	—
8月末	10,031	0.3	96.7	—
9月末	9,995	△0.1	99.9	—
10月末	10,003	0.0	95.9	—
11月末	10,064	0.6	99.6	—
12月末	10,042	0.4	98.3	—
2019年1月末	10,098	1.0	88.4	—
2月末	10,149	1.5	88.3	—
3月末	10,319	3.2	72.6	—
(期末) 2019年4月15日	10,283	2.8	65.5	—

\*設定日の基準価額は、設定価額を記載しています。

\*騰落率は設定日比です。

\*先物組入比率は、買建比率－売建比率

## 運用経過

### 【基準価額等の推移】

設定日：10,000円

期 末：10,283円

騰落率：+2.8%

### 【基準価額の主な変動要因】

（上昇要因）

債券は、フランス国債、日本国債、および米国債がプラスとなり、特にフランス国債が大きくプラスとなったことが要因となりました。為替は、米ドルがプラスとなったことが要因となりました。

（下落要因）

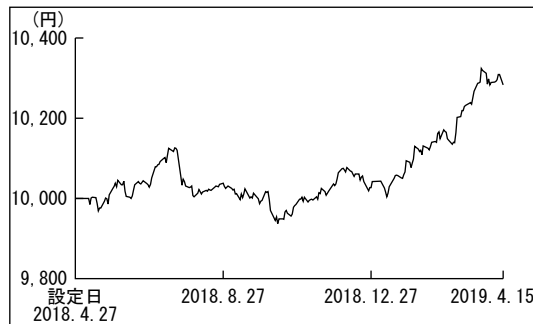
為替は、ユーロがマイナスとなったことが要因となりました。

### 【投資環境】

債券市場は米国、ユーロ圏を中心にグローバルに上昇しました。設定当初、イタリアにおいてポピュリスト政権が発足しリスクオフの流れが強まったことで、ユーロ圏のドイツ、フランスを中心に利回りは低下しました。その後、日本銀行による金融政策の柔軟化の報道や日本国債の買い入れ減額、米国の堅調な経済指標を背景に日米を中心に金利は上昇しました。2018年12月には米中貿易交渉への懸念の高まりやグローバルな経済指標の悪化から株価が大きく下落するなか、主要国金利は米国主導で大きく低下しました。その後もFRB（米連邦準備制度理事会）やECB（欧州中央銀行）といった主要国の中央銀行がハト派的な姿勢を強めたことや経済指標の悪化が継続したことから、債券市場は上昇基調が継続しました。

為替市場は米ドルが対円で上昇した一方、その他の通貨は下落しました。米ドルは2019年の年初、リスクオフが強まるなか大きく下落する局面も見られましたが、市場リスクセンチメントの回復に合わせ値を戻し、対円で上昇しました。一方、イタリアの政治混乱や経済指標の悪化が嫌気されたユーロや、EU（欧州連合）離脱交渉に対する懸念の高まりを受けた英ポンド、米国の対中強硬的な姿勢が嫌気されたオーストラリアドル、原油価格の下落が意識されたカナダドルは対円で下落しました。

基準価額の推移



## 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

### 【ポートフォリオ】

当期の騰落率は、+2.8%となりました。

設定当初、イタリアの政治混乱からリスクオフとなる局面では、債券のリスクを高めに維持した一方、為替のリスク量を引き下げ、抑制的な水準としました。その後、日本銀行の金融政策の柔軟化の報道を受けボラティリティ（価格変動性）が上昇、債券と為替の逆相関関係も悪化した局面では、日本国債を中心に債券とリスク資産のリスク量を引き下げ、ポートフォリオ全体のリスク量についてターゲットリスクをやや下回る水準としました。2018年12月に入り、世界的に株価が下落しリスクオフが強まる局面では、債券のリスクを高めに維持しつつ、リスク資産のリスク量を段階的に引き下げました。また、その後、中央銀行のハト派的な姿勢からベース資産・リスク資産ともに上昇する局面では債券・リスク資産ともにリスク量を段階的に引き上げました。ただし、リスク資産の債券対比で抑制的な配分は維持しました。

### 今後の運用方針

引き続き、債券に関しては、ポートフォリオ全体のキャリー収益を高め、安定した収益の積み上げを狙います。為替部分に関しては、債券部分との逆相関関係の状況を勘案し、最適なリスクバランスとなるようにリスク量を調節することでポートフォリオ全体のリスクをコントロールし、より安定した収益を目指します。

足元では逆相関が有効な状態が継続しており、リスク量は概ねターゲット近辺で維持しています。今後についても、リスク量をターゲットリスク近辺で維持することを基本方針とするものの、逆相関関係やボラティリティ、経済指標や地政学リスクなどを注視しつつ、リスク量の機動的な調整を行います。

### 1万口当りの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2018年4月27日～2019年4月15日		
	金額	比率	
その他費用 (保管費用)	2円 (1)	0.016% (0.015)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(その他)	(0)	(0.001)	
合計	2	0.016	
期中の平均基準価額は10,074円です。			

\* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 円未満は四捨五入しています。

# 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

## 売買及び取引の状況

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

### ■公社債

			買付額	売付額	
国	内	国債証券	千円 14,525,578	千円 11,356,737	
外国	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 81,723	千アメリカ・ドル 67,287	
	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 2,203	千イギリス・ポンド 663	
	ユーロ	フランス	国債証券	千ユーロ 98,662	千ユーロ 42,093
		ドイツ	国債証券	4,419	4,426

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

## 主要な売買銘柄

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

### ■公社債

		当期	
買	付	売	付
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
FRANCE OAT. 2.75 10/25/27	5,063,160	137 20年国債	3,306,349
137 20年国債	3,284,954	146 20年国債	3,223,998
152 20年国債	3,229,575	US TREASURY N/B 2.125 08/31/20	2,146,678
146 20年国債	3,194,823	165 20年国債	1,451,346
US TREASURY N/B 2.125 08/31/20	2,159,073	352 10年国債	1,376,212
FRANCE OAT. 0.75 11/25/28	2,051,446	FRANCE OAT. 2.75 10/25/27	1,359,034
FRANCE OAT. 4.75 04/25/35	1,883,353	US TREASURY N/B 1.375 02/29/20	1,313,828
FRANCE OAT. 2.5 05/25/30	1,808,527	US TREASURY N/B 1.625 05/31/23	1,272,221
US TREASURY N/B 2.875 04/30/25	1,641,100	148 20年国債	1,086,414
US TREASURY N/B 2.25 11/15/27	1,460,707	US TREASURY N/B 2.25 11/15/27	1,046,041

\*金額は受渡し代金（経過利子分は含まれていません。）

# 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

## 利害関係人との取引状況等

(2018年4月27日から2019年4月15日まで)

### ■利害関係人との取引状況

区 分	当			期		
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	D/C
公 社 債	百万円 37,159	百万円 118	% 0.3	百万円 24,900	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドに係る利害関係人とは、SMB C日興証券株式会社です。

## 組入資産の明細

2019年4月15日現在

### ■公社債

#### A 債券種類別開示

#### (A) 国内（邦貨建）公社債

区 分	当			期			末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うち B B 格 以下組入比率	残 存 期	間 別 組 入 比 率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
国 債 証 券	千円 2,790,000 ( - )	千円 3,215,642 ( - )	% 16.9 ( - )	% - ( - )	% 16.9 ( - )	% - ( - )	% - ( - )	% - ( - )	% - ( - )
合 計	2,790,000 ( - )	3,215,642 ( - )	16.9 ( - )	- ( - )	16.9 ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )	- ( - )

\* ( ) 内は、非上場債で内書き

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合



## 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

### (B) 外国（外貨建）公社債

区 分	当 期					末		
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 14,620	千アメリカ・ドル 14,852	千円 1,663,593	% 8.8	% —	% 8.8	% —	% —
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 1,250	千イギリス・ポンド 1,538	225,713	1.2	—	1.2	—	—
ユーロ	千ユーロ フランス 47,990	千ユーロ 58,001	7,342,960	38.6	—	38.6	—	—
	小 計 47,990	58,001	7,342,960	38.6	—	38.6	—	—
合 計	—	—	9,232,267	48.6	—	48.6	—	—

\*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

### B 個別銘柄開示

#### (A) 国内（邦貨建）公社債

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
(国債証券)	%	千円	千円		
152 20年国債	1.2000	2,790,000	3,215,642	2035/03/20	
合 計	—	2,790,000	3,215,642	—	

# 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

## (B) 外国（外貨建）公社債

銘柄	種類	利率	当 額面金額	期		末 償還年月日
				評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・ドル…アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US TREASURY N/B	国債証券	2.2500	3,900	3,815	427,381	2027/11/15
US TREASURY N/B	国債証券	2.8750	8,580	8,793	984,995	2025/04/30
US TREASURY N/B	国債証券	3.1250	2,140	2,242	251,216	2028/11/15
通貨小計	—	—	14,620	14,852	1,663,593	—
(イギリス・ポンド…イギリス)		%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK GILT	国債証券	4.7500	680	932	136,741	2030/12/07
UK GILT	国債証券	2.0000	570	606	88,971	2025/09/07
通貨小計	—	—	1,250	1,538	225,713	—
(ユーロ…フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT.	国債証券	4.7500	4,410	7,034	890,537	2035/04/25
FRANCE OAT.	国債証券	2.7500	24,010	29,250	3,703,133	2027/10/25
FRANCE OAT.	国債証券	2.5000	7,750	9,441	1,195,325	2030/05/25
FRANCE OAT.	国債証券	0.7500	11,820	12,274	1,553,964	2028/11/25
ユーロ通貨小計	—	—	47,990	58,001	7,342,960	—
合計	—	—	—	—	9,232,267	—

\*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## 投資信託財産の構成

2019年4月15日現在

項目	当	期	末
	評価額	額	比率
公社債		千円	%
公債	12,447,909		61.3
コーポレートローン等、その他	7,861,656		38.7
投資信託財産総額	20,309,565		100.0

\*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

1アメリカ・ドル=112.01円、1イギリス・ポンド=146.68円、1ユーロ=126.60円

\*当期末における外貨建資産（9,100,512千円）の投資信託財産総額（20,309,565千円）に対する比率 44.8%

# 先進国国債（リスク抑制型）マザーファンド

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2019年4月15日) 現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	29,573,220,341円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,916,875,363
公 社 債(評価額)	12,447,909,547
未 収 入 金	10,093,174,366
未 収 利 息	65,247,980
前 払 費 用	50,013,085
(B) 負 債	10,572,274,353
未 払 金	10,560,052,260
未 払 解 約 金	12,200,835
そ の 他 未 払 費 用	21,258
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	19,000,945,988
元 本	18,478,705,545
次 期 繰 越 損 益 金	522,240,443
(D) 受 益 権 総 口 数	18,478,705,545口
1 万 口 当 り 基 準 価 額(C/D)	10,283円

\*元本状況

当初設定元本額	500,000,000円
期中追加設定元本額	19,347,667,224円
期中一部解約元本額	1,368,961,679円

\*元本の内訳

大和住銀 先進国国債ファンド（リスク抑制型） 18,478,705,545円

## 損益の状況

自2018年4月27日  
至2019年4月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	155,702,771円
受 取 利 息	156,676,912
支 払 利 息	△ 974,141
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	240,178,752
売 買 益	974,329,195
売 買 損	△734,150,443
(C) そ の 他 費 用	△ 1,587,782
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	394,293,741
(E) 解 約 差 損 益 金	△ 13,703,854
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	141,650,556
(G) 計 (D+E+F)	522,240,443
次 期 繰 越 損 益 金(G)	522,240,443

\*有価証券売買損益には、期末の評価換えによるものを含みます。

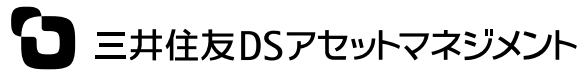
\*解約差損益金とは、一部解約時の解約金額と元本の差額をいい、元本を下回る額は利益として、上回る額は損失として処理されます。

\*追加信託差損益金とは、追加信託金と元本の差額をいい、元本を下回る額は損失として、上回る額は利益として処理されます。

## お知らせ

委託会社の合併に伴い、ファンドの委託者の商号ならびに公告の方法を変更することに伴う所要の約款変更を行いました。（2019年4月1日付）

※各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しております。



三井住友DSアセットマネジメント